採集記録・観察記録

オオモンシロチョウが再発生

円子紳一[1)]

Shinichi Maruko, 2021. Recent Occurrences of *Pieris brassicae*
Bulletin of the Historical Museum of Urahoro,21:33-34.

町内でのオオモンシロチョウ *Pieris brassicae*（Linnaeus,1758）の最初の採集確認は、帯広百年記念館が所蔵する阿部秀夫氏（浦幌町）の1999年9月10日・帯富（浦幌高校グランド）での記録と思われる（伊藤 2017）。また、上野雅史氏（利尻町）が同年8月28日に帯富71-4で、ワサビダイコンに食痕と脱皮殻を確認している（上野 2001）。

2000年5月31日に帯富で円子が（円子 2013）、以降12年まで荒川和子氏、立浪みつ子氏、東等義光氏らによって確認されていた（荒川2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020）。

13年以降はぱったりと姿を見せなくなっていた。円子は、20年7月20日と24日（豊北）、9月17日（帯富）に採集した（図1）。浦幌での確認は8年ぶりである。

また、荒川氏は7月29日と8月7日（相川）、8月13日（南町）、9月9日と21日（相川）に採集している。

本種はヨーロッパ原産の外来種で、ロシア南東部のウラジオストック周辺では1995年頃から普通種となっていた。北海道では1995年に京極町で初確認された。十勝では1998年に新得町と広尾町で確認され、その後、十勝全域に分布を拡大したと思われる。

食草はアブラナ科で、我が家の家庭菜園でも一時は大発生したが、2012年以降になると全道的に減少傾向になった。要因としては、①本種の幼虫が高湿度に極端に弱い②農薬に対する抵抗性が弱い③終齢幼虫へのコマユバチの寄生などが考えられている。

20年の我が家の家庭菜園では、８月28日に多数の幼虫がヤマワサビ（ホースラディッシュ）の葉を食べているのを発見した（図2）。数匹の終齢幼虫にはアオムシコマユバチと思われる寄生蜂が見られた。

なお、中川郁子氏（浦幌町字美園）によると、07年頃～19年まで庭先に訪れる本種を確認しているという。農薬を使わない家庭菜園や山地などで秘かに生きのびていると思われ、今後の発生を注視したい。

本稿の作成に当たってご教示いただいた荒川和子氏、中川郁子氏、浦幌町立博物館の持田誠学芸員、帯広百年記念館の伊藤彩子学芸員に感謝申し上げる。

参考文献

上野雅史．2001．オオモンシロチョウについての一考察（第5報）．やどりが．189号．14-19.

白水隆．2011．日本産蝶類標準図鑑（第3刷）．学研教育出版，東京.

伊藤彩子．2017．阿部英夫氏チョウ目標本コレクション目録．帯広百年記念館紀要．第35号．47-56.

永盛俊行・永盛拓行・芝田翼・黒田哲・石黒誠　2018，完本　北海道蝶類図鑑（第2刷），北海道大学出版会，札幌.

円子紳一．2013．浦幌町の外来種を考える．浦幌町立博物館紀要．13：7-14.

荒川和子．2001．浦幌町立博物館所蔵の2000年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．創刊号：43-54.

荒川和子．2002．浦幌町立博物館所蔵の2001年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．2：1-2.

荒川和子．2003．浦幌町立博物館所蔵の2002年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．3：1-5.

荒川和子．2004．浦幌町立博物館所蔵の2003年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．4：1-4.

荒川和子．2005．浦幌町立博物館所蔵の2004年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．5：1-9.

荒川和子．2006．浦幌町立博物館所蔵の2005年度採

1) 浦幌の自然を楽しむ会　〒089-5634　北海道十勝郡浦幌町字帯富

集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．6：1-7.
荒川和子．2007．浦幌町立博物館所蔵の2006年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．7：1-19.
荒川和子．2008．浦幌町立博物館所蔵の2007年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．8：1-9.
荒川和子．2009．浦幌町立博物館所蔵の2008年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．9：1-8.
荒川和子．2010．浦幌町立博物館所蔵の2009年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．10：1-8.
荒川和子．2011．浦幌町立博物館所蔵の2010年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．11：1-9.
荒川和子．2012．浦幌町立博物館所蔵の2011年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．12：1-5.
荒川和子．2013．浦幌町立博物館所蔵の2012年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．13：1-5.
荒川和子．2014．浦幌町立博物館所蔵の2013年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．14：1-5.
荒川和子．2015．浦幌町立博物館所蔵の2014年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．15：1-7.
荒川和子．2016．浦幌町立博物館所蔵の2015年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．16：1-7.
荒川和子．2017．浦幌町立博物館所蔵の2016年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．17：1-7.
荒川和子．2018．浦幌町立博物館所蔵の2017年度収蔵の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．18：1-14.
荒川和子．2019．浦幌町立博物館所蔵の2018年度収蔵の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．19：1-7.
荒川和子．2020．浦幌町立博物館所蔵の2019年度採集の蝶標本．浦幌町立博物館紀要．20：1-7.

図1　豊北で7月20日に採集されたオオモンシロチョウ

図2　オオモンシロチョウ幼虫